

なぜEMC規格は、こんなに多いのか？

あれこれと数多いEMC関連規格について試験業界エキスパートが考察する

STEVE HAYES

TRaC Global, Worcestershire, United Kingdom

JACK MCFADDEN

Wyle Laboratories, Huntsville, Alabama, USA

STEVE O' STEEN

Advanced Compliance Solutions, Atlanta, Georgia, USA

KENNETH WYATT

Wyatt Technical Services, Woodland Park, Colorado, USA

DAVID ZIMMERMAN

Spectrum EMC Consulting, Eagan, Minnesota

2011年10月にEN55022の前のバージョンから最新版への移行期間が終わり、最新バージョンでは初めて1GHz超の試験が必要になる。同時に、2011年10月に始まる内容で、EMC指令に基づく調和規格リストがEU官報によって更新された。注目に値する（そして予測される）ことは、一般エミッション規格（EN61000-6-3と-4）両方が入っていることである。これら規格は両方とも、EN55022と同様、現在1GHz超のエミッション試験要求を含む。EN55022の移行期間はちょうど終了したが、一般規格が強制されるのは2014年からである。

この問題は、TRaC Global社のEMC・安全業務担当常務取締役でCEng MIETのSteve HAYES氏が最近提起し、LinkedInの同僚に疑問を投げかけたものである。その疑問とは、こうである。EMC指令に適合していることを示

すのに使う、両方の規格を選べる移行期間は、長すぎないだろうか。結局、今日の世界で競争している製品は、この期間よりもずっと速く入れ替わるのでメーカーは少なくとも、1GHz超の試験が要求されるようになる前に他の製品が出荷開始されるかもしれない。同様に、何百万もの新製品が、次の2年間、電磁波のエミッションに対して何の規制も無しで市場に投入できるので、RFスペクトルの保護に圧力がかけられている。

Interference Technology誌では、Wyle Laboratories社の上級プロジェクトエンジニアJack McFadden氏、Advanced Compliance Solutions社のEMC管理者Steve O' STEEN氏、WYATT Technical Services社の上級EMCエンジニアKen WYATT氏、Spectrum EMC Consulting社の社長David Zimmerman氏を招き、Hayes氏が投げかけたこの疑問について、また他の件についても話し合ってもらったこととなった。

HAYES：旧規格から新規格への移行期間は長すぎると思いませんか？

ZIMMERMAN：これは良い着眼点であり、同時に欧州連合EMC適当システムの短所であると私は思います。実際のところ、その他の製品群規格において1GHz超のエミッション要求が遅れており、いくつかの規格は次の10年でも変わらないかもしれない。EMC問題を避けるためには、試験が要求される規格が発行されてから試験が必要になるまでの期間がEMC問題を避けるためには長すぎる。

O' STEEN：「新製品」サイクルは、全産業に